

1 開 会

2 上伊那教育会の歌『仰望』

3 会長挨拶

4 議 事

- (1) 第1号議案「『特定資産取得・改良資金』
の支出の承認」に関する件（唐澤事務局長）



第1号議案は承認された。

5 報 告

- (1) 信濃教育会常任委員会 報告（林 会長）
(2) 信濃教育会臨時総会 報告（原常任委員）
(3) 信濃教育会総集会 上伊那大会 報告（原常任委員）
(4) 県外教育関係機関研修 報告・反省（原常任委員）
(5) 日本連合教育会滋賀大会参加 報告 林 武司 会長
赤穂南小学校 小塚 恵子 会員
箕輪中部小学校 村上 大介 会員
伊那中学校 栩秋 佳典 会員
(6) 定額式定期積金の満期に伴う定期貯金への移行について

6 協 議

- (1) 教育会各事業の中間報告
① 職能研修事業（原常任委員）
② 児童生徒育成事業（大島常任委員）
③ 郷土研究事業（柳田常任委員）
④ 不動産貸与事業、会員共済事業、視察派遣・広報事業（唐澤事務局長）
⑤ あり方委員会（橋場副委員長）
(2) 上伊那教育会総研修会『仰望の日』の反省（堀米幹事長）
(3) 少年の塔周辺整備作業・少年の塔慰霊祭の反省（堀米幹事長）

7 諸 連 絡

- (1) 文学講演会について
(2) 令和2年度に向けた上伊那教育会諸事業の改善・充実に関する意見・要望等について

8 閉会の言葉

上伊那教育会 林 武司 会長 挨拶

皆さん今日は。代議員の皆さんには、ご多用な中、第3回総会にご参集いただき誠にありがとうございます。この度の台風19号は、長野県にも甚大な被害をもたらしました。残念ながら何人かの方が犠牲になってしまわれ、今もなお避難されている方々が大勢おられます。学校が避難所となったり学校自体が被害にあったりして、休校となっている学校もいくつかあるようです。上伊那でも避難所となった学校がいくつかあり、先生方のご苦勞は並大抵ではなかったかと思えます。私たちは自然の驚異と隣り合わせであるということに改めて思い知らされました。1日も早い復興を祈らずにはおられません。



さて、教育会の諸事業も、会員の皆様方のご協力を得て、大きな事業が滞りなく進んでおります。三大研修の一つである「夏期講習会」では、延べで120名近くの、多くの会員や地域の方のご参加をいただき、秋富先生のご指導のもと、日頃の実践や悩みを語り合いました。「子どもを毎日目の当たりにしている教師としての私にとって純粋経験とは何なのか、なぜそれが重要なのか、を立ち止まって考えるいい機会となりました。純粋経験によって自分の生き方・考え方が変わる。自分が更新される幸せを子どもとともに過ごしなが、もっと感じることができれば教員としてもっとやりがいを得られると思います。」という参会者の感想のように、教師としての自己を問う修養の場を共にすることができました。また、「夏休み映画鑑賞会」や郷土研究部による「親子体験スクール」「人権教育講演会」等、各種事業も充実の内に終えることができました。

8月3日には、「少年の塔慰霊祭」を50名近い会員や地域の方の参加者を得て実施することができました。本土を見つめる少年の塔の前で、今年も北原和夫様からお話を拝聴することができ、改めて戦争の悲惨さと平和の重みについて考えさせられました。北原様は、お話を「教育の現場にいる先生方にとっては、道徳、倫理、モラルの問題など、ご指導が大変なことも多いと思います。社会全体で、道徳、倫理、人間の本当の絆（ヒューマンチェーン）、生命の尊厳をしっかりとしましよと叫ばずにはいられない今日です。」と結ばれました。私たちにできることは何なのか、何をしなければならぬのか、改めて教師としてそして人間としての自分のあり様を見つめざるを得ません。

いよいよ10月に入りました。教育会の諸事業もいよいよ後半戦に入ります。本日は、議事として『特定資産取得・改良資金』の支出の承認について、さらに「教育会各事業の中間報告」をはじめ3つの協議題を用意させていただきました。教育会の諸事業がさらに充実していきますよう忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

議 事

第1号議案 「特定資産取得・改良資金」の支出の承認に関する件

唐澤喜市専務理事が提案し、審議を行いました。質問・意見を受け、採決を行いました。

○ 説明の主な内容

- ・ 空調機の更新、LED交換の費用として21,769,087円、付帯工事費用として未確定な部分もあるが406,029円になる見込み、合計22,175,116円を令和2年1月に支払う。
- ・ この支払いのため「特定資産取得・改良資金」の支出について承認願いたい。
- ・ 付帯事項として、令和2年5月以降にトイレの改修が行われ、これも「特定資産取得・改良資金」から支出されるので資金の保有を継続していく必要がある。また、トイレ改修終了後の残金は名称を変更した資金として継続していく。

第1号議案について、挙手による採決をした結果、賛成多数で承認されました。

※ 下記は、一部抜粋です。詳しくお知りになりたい方は各校の代議員の先生が詳しい資料をお持ちですので、そちらをご覧ください。

報 告

1 信濃教育会臨時総会報告（原 常任委員）

後藤会長の挨拶で、総集会上伊那大会、研究所発表会に多くの会員に集まっただき感謝であるとの話があった。また、参加すれば参加するほどメリットが感じられるのが教育会であるとの話を受けて、上伊那教育会もそのように会員に感じていただける教育会にしたいと感じた。情報交換では、3つの課題について話し合った。とくに、「各郡市教育会事業推進に係る課題について」上伊那教育会から、会員数は維持・微増であるけれども会費収入は毎年数十万円減少しているため、委員数・会議数を減らし貸与費増額で対応していること、郷土研究部委員の高齢化が顕著で次世代につなげていきたいと発言した。

2 第133回信濃教育会総集会上伊那大会報告（原 常任委員）

テーマを「信州教育の創造 ～未来を拓く職能の向上～」として7月6日（土）に駒ヶ根総合文化センターで行われた。例年通り、開会式、特選受賞者の発表、意見発表があり、吉岡忍先生から「現在を見、過去を見て、そして未来は？」と題した講演をしていただいた。最後に後藤会長から、上伊那から役員・係・一般参加者を含めて150名の参加があったが、特に役員・係の先生方には準備や当日の運営において大変お力添えをいただいたと心からのお礼の言葉があった。

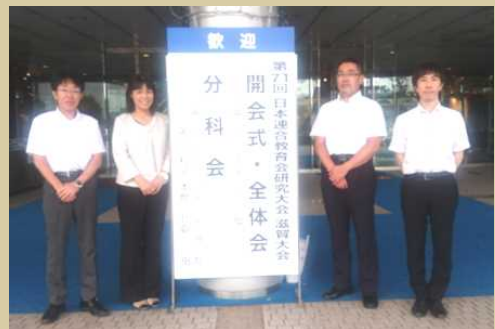
3 県外教育関係機関研修視察報告（原 常任委員）

6月26日から28日にかけて3つの小中学校へ研修に行ってきた。今年度は学校運営に関わり特色ある取り組みをしている学校を見学した。この報告会を10月28日（月）16:00から開催予定になっている。今のところ、まだ若干余裕があるので、各校でもう一声かけていただきたい。10ページに反省を載せてあるが、参加して大変有意義であったという感想が出されている。自己負担金1万円で研修ができることを来年度も各校で宣伝してほしい。

第71回「日本連合教育会研究大会大津大会」 参加報告

大会主題 『ふるさとを愛し 心豊かで主体的に生き抜く 子供の育成 ～BIWAKOから未来への発信～』

- ・ 日本連合教育会は、戦後まもなく明治以来の65年間の教育会の歴史に終止符が打たれた経緯の中で、日本の教育再建のためには職能団体としての教育会の存在は不可欠であるとして、日本を代表する教育会を結成しようという有志の熱い願いと固い決意によって昭和24年に創設された。
- ・ 決してぶれてはならない日本連合教育会の根本態度「教育文化の振興、職能向上、学術の研鑽に努め、文化国家の建設に寄与する」「教育の民主化を図り、平和と自由のために奉仕する」「中正なる思想を堅持する」を再確認したい。
- ・ 大津市に集い、上伊那教育会の参加者ばかりでなく、信濃教育会他郡市の教育会の皆さんや、滋賀県教育会、その他日本全国から集った先生方と語り合うことができ、とても良い機会となった。人と人がつながること、それがこれからの社会の中で、とても大事だということを強く感じた日連教の大会であった。 (林 武司 会長)



「赤穂南小学校の実践発表」

- ・ 平成6年開校の本校は、平成13・14年に文部科学省歯と口の健康づくり推進指定校、長野県学



その中で、歯と口の健康のみならず「保健・給食(食育)・安全・体力づくり」を基本とする児童の生活全般に関わる「健康教育の実践」について研究を重ねている。

- ・ 4月、「歯と口の健康づくり」について全職員に周知し共通理解を図る。年間指導計画には学年ごと学校歯科医・歯科衛生士・担任がどのような指導をするのかが位置付けられており、使用する教材や資料も引き継がれているため、スタッフが替わっても継続した指導が実践されている。
- ・ 学校医・学校歯科医の指導のもと継続してきたことが地域の幅広い世代に浸透しており、保護者の理解・協力も得やすく、指導を続けることができる。学校保健委員会で検討し、学校・家庭・地域でどんな取り組みができるか話し合い、今後の継続的な実践につなげたいと考えている。

(赤穂南小学校 小塚 恵子 会員)

「共に生きることを目指す特別支援教育」

堺市教育会（堺市立日置荘中学校）の実践

中学校の通級指導教室での個別の支援を学校全体で進め、一人一人の生徒の特性に応じた個別の支援と合理的配慮についての実践発表があった。文字を書くことが苦手なAくんの事例から、数学ではデジタル教科書で視覚的支援を行い、特に図形は理解が進んだ。合理的配慮(保護者より)、自尊意識が下がらないような声かけやノートやテストの採点時の配慮などの取組などの紹介があった。

2 滋賀県教育会（大津市立堅田小学校・大津市立田上小学校）の実践

通級での個別の支援の在り方を探り向上していく、通常学級での支援について担任と共に取り組む、大津市全体に発信していく、という三つのねらいを立て取り組んだ実践発表。幼稚園との連携で九九習得のための工夫(九九の歌、規則性を見つける、他感覚刺激を使った取組)、学校と家庭でデイジー教科書を活用するなど読むことに自信をつけさせる音読指導。

他県の特別支援教育の研究や現状について知れたことは、とても有意義だった。学ばせていただいたことを児童支援に生かしたり、先生方に伝えたりしながら、支援の必要なお子さんを含め、学校にいる子どもたちが気持ちよく、将来に向けて成長できる環境を考えていきたい。

(箕輪中部小学校 村上 大介 会員)



「自他の人権を尊重し、共に生きる実践的態度を育てる人権教育」

- ・ 「かけがえのない命を大切にし、自尊感情を高め、豊かな感性を育む集団づくり・授業づくり」「学校・園(所)・家庭・地域社会が互いに連携し、共に生きる人権教育の在り方」について、香川県教育会（丸亀市立本島小学校）の実践と滋賀県教育会（甲賀市立貴生川小学校）の実践報告があった。

・ 人権教育部会では、90余名の全国から集まった先生方と考えを深めることができた。全体発表後は、滋賀県の先生方を中心に6名ほどのグループに分かれ、意見交換を行い他県の実情も聞くことができた。

・ 香川県教育会の実践では、島という地域性を生かしながら、地域学習の中で同和地区について正しい知識をつけ理解していくとのことだったが、それは子どもが島を大切にしている気持ちにつながる学習だと感じた。

・ 滋賀県教育会の実践では、直接人と関わり話を聞く学習や子どもの居場所づくりなどを通じた、子どもたちの変化の報告だったが、これも地域と連携した活動でありその大切さと有用性を強く感じた。

(伊那中学校 榎秋 佳典 会員)

協 議

教育会各事業の中間報告があり、次のような反省が報告されました。

- ◇ 職能研修事業（原 文章 常任委員）
 - ・哲学研修では、4回の読み合わせと8月の夏期講習会で充実した研修ができた。
 - ・文学研修では、5回の読み合わせが先日終わり、10月19日に堀井正子氏をお呼びして講演会を予定している。
 - ・授業研修については、現在進行中。
- ◇ 児童生徒育成事業（大島 俊彦 常任委員）
 - ・編集事業については、文集、葉の仕事が進行中。地図の編集は本年度休んでいる。
 - ・鑑賞会事業では、夏休みの映画鑑賞会が大変好評で1363名の子どもが集まった。来年度は文化会館の改修工事のため、実施しない。
- ◇ 郷土研究事業（山内 伸治 常任委員）
 - ・研究調査・資料収集事業について本年度44名の委員の皆さんに研究委員会をすすめていただいている。教育会所蔵の文化財の維持管理、夏休み体験スクール等を行っている。
 - ・専門委員会は委員数62名でスタートし、自然の部、人文の部それぞれで研究を進めている。
 - ・体験教室・研修講座開設事業では、夏休み体験スクールを実施し、大きな成果を得た。
 - ・今後、1月25日に郷土研究発表会が予定されている。多くの先生方の参加をお願いしたい。
- ◇ 不動産貸与事業、会員共済事業、視察派遣・広報事業（唐澤 喜市事務局長）
 - ・不動産貸与事業は、唯一の収益事業で教育関係団体に貸与している。本年度は、信教賛助会の上伊那大会があり会議数が増えている。
 - ・会員共済については基金の資産運用で行っている事業で、昨年度並みの実績である。
- ◇ ありがた委員会（橋場 副委員長）
 - ・総会での代議員の意見や会員、研修に参加者の意見などを委員会で検討している。今後検討を重ねながら、12月中には答申書をまとめ1月の理事会に提出していく。
- ◇ 上伊那教育会総研修会「仰望の日」の反省（堀米 英徳 幹事長）
- ◇ 少年の塔周辺整備作業、少年の塔慰霊祭反省（堀米 英徳 幹事長）



※ 協議については、上記は一部抜粋です。詳しくお知りになりたい方は各校の代議員の先生が詳しい資料をお持ちですので、そちらをご覧ください。

